

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

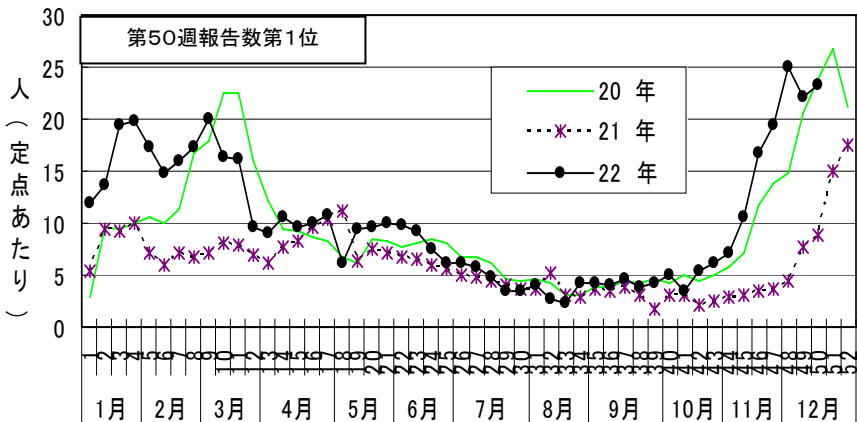
平成22年12月13日（月）～12月19日（日）〔平成22年第50週〕の感染症発生状況

第50週で報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

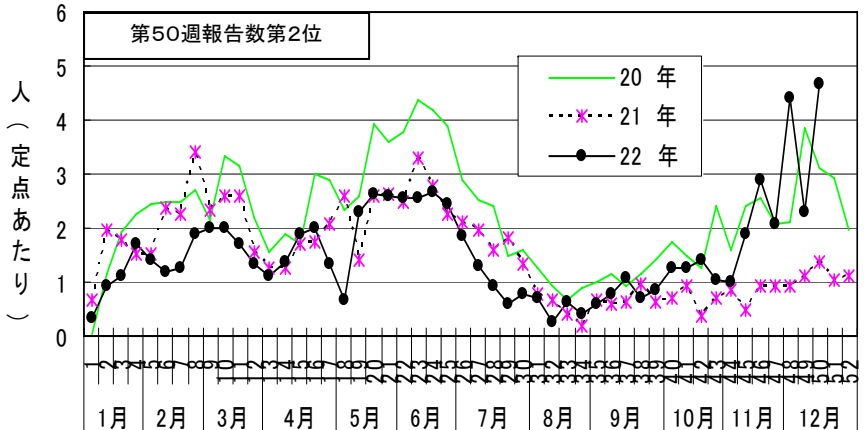
感染性胃腸炎は定点あたり23.34人と前週（22.06）より患者報告数は増加しており、流行発生警報基準値（定点あたり20人）を超えております。特に高津区で報告が多く、定点あたり36.20人となっております。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点あたり4.66人と前週（2.31）より患者報告数は増加しており、平成11年以降の同時期と比較すると、最も多い報告数となっております。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## インフルエンザの流行が始まりました！！

川崎市の第50週におけるインフルエンザ患者報告数は、定点あたり1.11人と前週（0.51人）に比べて増加し、流行開始の目安とされている定点あたり1人を上回りました。インフルエンザに対して、今後さらなる注意が必要です。

また、次の『インフルエンザ予防法 基本の6か条』を徹底し、体調管理に気をつけましょう。

①うがいと手洗い

インフルエンザの予防法 基本の6か条

④十分な睡眠

②外出時のマスク

③人ごみを避ける



⑥バランスが取れた食事



⑤十分な加湿

あわせて咳エチケットも実践しましょう！！

- 咳やくしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻をおおい、他の人から顔をそむけ、できる限り1～2メートル以上離れましょう。ティッシュなどが無い場合は、口を腕でおさえて、極力、飛沫が飛び散らないようにしましょう。押さえた腕などは、その後直ちに洗いましょう。
- 呼吸器系分泌物（鼻汁・痰など）を含んだティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用を積極的にすすめましょう。マスクを適切に着用することによって、飛沫の拡散を防ぐことができます。

